

# 上下水道耐震化計画（下水道事業）

計画期間：令和7年4月～令和12年3月

番号	区分	施設名	処理能力 晴天時最大 (m <sup>3</sup> /日)	R5年度末 耐震化済み	R11年度末 耐震化目標
1	急所	清水東部環境センター	3,100		
2	急所	日野川浄化センター	128,800		
3	急所	清水西部環境センター	1,970		
4	急所	境浄化センター	23,800		
5	急所	鷹巣浄化センター	2,300		
6	急所	美山浄化センター	600		
耐震化施設数				1 箇所	1 箇所
耐震化率				17%	17%

区分	施設名	管路延長 (km)		
		全延長	R5年度末 耐震化済み延長	R11年度末 耐震化目標延長
急所	下水道管路	6.7	1.3	4.5
耐震化率			19%	67%

番号	区分	施設名	揚水量 晴天時最大 (m <sup>3</sup> /min)	R5年度末 耐震化済み	R11年度末 耐震化目標
1	急所	水越ポンプ場 菅谷ポンプ場	7.0	4.1	
2	急所	養浦ポンプ場	3.1		
3	急所	乾徳ポンプ場	43.7		
4	急所	加茂河原ポンプ場	36.2		
耐震化施設数				1 箇所	1 箇所
耐震化率				25%	25%

区分	施設名	管路延長 (km)		
		全延長	R5年度末 耐震化済み延長	R11年度末 耐震化目標延長
重要	下水道管路	39.5	1.8	7.0
耐震化率			5%	18%

番号	区分	施設名	揚水量 晴天時最大 (m <sup>3</sup> /min)	R5年度末 耐震化済み	R11年度末 耐震化目標
1	重要	足羽ポンプ場	4.6		
2	重要	出作ポンプ場	8.9		
3	重要	米松ポンプ場	10.3		
4	重要	大瀬ポンプ場	44.4		
5	重要	南四ツ屋汚水ポンプ場	8.0		
耐震化施設数				0 箇所	1 箇所
耐震化率				0%	20%

水越ポンプ場は、新設する菅谷ポンプ場に機能を集約し、耐震性能を確保する。

【避難所等の重要施設～下水道処理場直前の最終合流地点までの下水道管路】

【避難所等の重要施設～下水道処理場直前の最終合流地点までのポンプ場】

計画期間内に耐震化を図り、耐震化率等の上昇に寄与する施設  
 計画期間内に耐震化を図るが、完了しないため、耐震化率等の上昇に寄与しない施設

—	行政区域
—	市街化区域
—	処理分界区
—	単独公共下水道(境処理区、合流式)
—	単独公共下水道(日野川処理区、合流式)
—	単独公共下水道(日野川・清水東部、分流式)
—	流域関連公共下水道
—	特定環境保全公共下水道
—	農業集落排水等
—	浄化槽(市町村設置型)
—	浄化槽(個人設置型)等

耐震性無	計画期間 内の対策 推進箇所	計画期間 内の対策 完了箇所	耐震性有	区分	下水道施設
△	▲	△	▲	急所施設	下水処理場
→	→	→	→		下水道管路
○	○	○	○	重要施設に 接続する管路等	ポンプ場
○	○	○	○		下水道管路
○	○	○	○	重要施設	ポンプ場



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号) 平18北複、第90号